

令和3年度指導級認定牛削蹄師資格者昇級研修会および昇級試験実施要領

公益社団法人日本装削蹄協会

1. 目的

認定牛削蹄師の養成ならびに牛削蹄技術の普及と技術の向上を図るため、牛削蹄に関する学科、技術について高いレベルの知識と技術を付与し、牛削蹄業界の指導的立場に立つ優秀技術者を養成することを目的とする。

2. 日時および場所

(1) 期 間 令和4年2月23日(水)～25日(金)の3日間

(2) 場 所 学科：鯉渕学園農業栄養専門学校(茨城県笠間市)
実技：笠間瑞穂株式会社鯉淵分場(茨城県水戸市)

3. 受講・受験定員

概ね10名とします。

4. 受講資格：1級認定牛削蹄師で、次の(1)から(5)の条件をすべて満たす者とします。

(1) 認定牛削蹄師として、常時削蹄業務に従事していること。

(2) 令和3年6月1日をもって1級認定牛削蹄師の認定を受けた日から実務経験9年以上経過している者、若しくはこれと同等以上の技術を有すると認められる者。

注：「これと同等以上の技術を有すると認められる者」とは、全国牛削蹄競技大会において優勝し、かつ、一定の要件を満たしていること。

* 一定の要件とは

① 28歳以上の者。

② 1級認定牛削蹄師の取得者であって、2級認定牛削蹄師の認定を受けた日から令和3年6月1日をもって9年以上経過している者。

(3) 牛削蹄業界の指導者として適格であると認められること。

(4) 研修会修了後、引き続き実施する昇級試験を受験できること。

(5) 会長又は公益社団法人日本装削蹄協会定款第5条第1号に定める正会員のうち、認定装蹄師又は認定牛削蹄師で構成する団体(以下「地方会」という。)の会長若しくはこれに準ずる者に推薦されること。

5. 日 程

(1) 2月23日(水) 午前8時30分より 開講式 学科研修

(2) 2月24日(木) 午前8時30分より 学科研修および学科試験

(3) 2月25日(金) 午前8時30分より 実技研修および実技試験

6. 研修内容

*研修会は、学科と実技に分けて個別に受講することはできません。

(1) 学科

ア 牛削蹄についての専門知識

イ 牛をとりまく情勢についての最新情報

(2) 実技研修

削蹄実技

7. 試験内容

*昇級試験は、学科と実技に分けて個別に受験することはできません。

(1) 学科試験

ア 削蹄理論（2時間）

・専門知識に関する試験

設問 2題：牛削蹄に関する最近の知見

設問の内容 ① 本会発行の教本「牛の削蹄」および機関誌「蹄」に掲載された最新の牛削蹄技術および削蹄学理に関する記事内容を引用して設問する。

② 最新知見に対する熟知度を測る。

③ 最新情報に対する受験者個人の経験を踏まえた意見および考え方を求める。

イ 削蹄判断（30分）

・実牛の削蹄判断試験（30分）

判断用牛 1頭

(2) 実技試験

*保定法は、単独保定法または柶場保定法を選択する

ア 単独保定法による削蹄（規定時間40分）

イ 柶場保定法による削蹄（規定時間30分）

ウ 本会の定める蹄病処置申告用紙の提出（削蹄終了前までに、試験牛の蹄病処置の必要があるものは、処置前に記載し提出することができる）

*アおよびイは何れも規定時間による1頭削蹄

8. 受講者の心得

(1) 筆記用具、本会教本「牛の削蹄」、作業着、削蹄工具（削蹄用下敷き板および頭絡を含む）は受講・受験者が持参して下さい。

(2) 柶場保定法により試験を希望する者は、各自で柶場を用意すること。本協会では柶場の用意はいたしません

(3) 受講・受験者は、防疫上の配慮に基づき清潔な作業衣服や消毒済みの削蹄工具を持参して下さい。（添付の「牛削蹄関係講習会等における防疫対策要領」参照）

(4) 研修・試験中の事故については、本会は責任を負いません。

(5) 受講・受験に係る旅費は個人負担とします。

(6) 実技会場（駒場牧場）は交通手段がないため、各自で移動手段を確保してください。

9. 受講・受験手続き

(1) 受講・受験申込み

受講・受験者は、受講申込書に所属する本会正会員の会長またはこれに準ずる者の推薦を受け、受験願書を添えて令和3年2月28（金）日までに所属の正会員事務局に提出して下さい。

(2) 受講・受験者の決定

ア 受講・受験者を決定し、その旨を申込者およびその推薦者に通知します。

イ 申込者が受講・受験定員を超過する場合は、本会会長が適宜受講者を決定します。

(3) 受講料・受験料

ア 後記 10. に掲げる受講料・受験料等については、受講・受験者決定通知に同封の「郵便局の振込取扱票」を使用して、決定通知に記載されている期日までに本会に振込んで下さい。（振込手数料は受講者の負担とします）

イ 受講料等の納入後に受講出来なくなった場合は、受講料等は、原則として、返金はいたしません。

(4) 郵便局の「振替払込請求書兼受領書」は、当会の領収書に代えるものとします。

(5) 本会会長の推薦に係る者の受講・受験手続きは、上記に準じて本会会長が指示する方法にします。

10. 受講料・受験料等（消費税を含む）

	*正会員に所属する認定牛削蹄師 (構成員)	*その他の認定牛削蹄師 (非構成員)
(1) 受講料	26,200円	39,300円
(2) 受験料	26,200円	39,300円
(3) テキスト代	5,370円	6,370円

注1：テキストの送料については、6冊以上は本会にご連絡ください。

注2：テキスト代については、既に購入済みの方は不要です。

11. 個人情報について

・受講申込書等の記載内容については、研修・試験事務に利用します。また、受講者名簿は傷害保険会社に提出しますのでご了承下さい。

・試験合格後、認定申請書に記載された内容については認定事務の他、機関誌「蹄」への掲載に利用するため、地元装削蹄師会にも提供しますのでご了承下さい。

12. 合格証の交付

研修会の教科課程を修了し、昇級試験に合格した者には合格証を交付します。



指導級認定牛削蹄師資格者昇級研修会受講申込書

公益社団法人日本装削蹄協会会長 殿

フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日
郵便番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
住所	
電話	()
認定番号	
1級認定資格 取得後の実務 経験年数	年 月
<p>指導級認定牛削蹄師に昇級するための資格者昇級研修会を受講したいので申し込みます。</p> <p>年 月 日</p> <p>氏名 (印)</p>	
<p>推薦状</p> <p>上記の者は、牛削蹄業界の指導者として適格であるので、指導級資格者昇級研修会の受講者として推薦します。</p> <p>年 月 日</p> <p>地方会名 _____</p> <p>会長 氏名 (印)</p>	

注意 年月日は年号で記入すること。

指導級認定牛削蹄師資格者昇級試験（実技試験方式）受験申込書

（公社）日本装削蹄協会

日本装削蹄協会では、指導級認定牛削蹄師資格者昇級試験実施要領の一部改正により、実技試験においては、「単独保定法または枡場保定法のいずれかを受験者が選択できる」方式になっております。

本年度の指導級昇級試験の実施に当たりましては、会場確保等の準備の都合上、昇級試験の受験対象者について、実技試験における保定法等に関する希望を事前に把握しておく必要がありますので、下記により実技試験における保定法を各自選択の上、受講申請書、受験願書に添えてお申込みください。

なお、日本装削蹄協会では保定枡場の用意はいたしませんので、ご留意願います。

※ 受験申込者本人記入

氏名	性別	生年月日	1級取得経過年数等	
	・男 ・女		年	(年度全国大会優勝者)
住所	〒			

※ 受験方式等について、ご記入ください。

*実技試験で次のいずれの保定法を選択しますか。該当する記号を○で囲んでください。

ア 単独保定法

イ 枡場保定法

1. 単独保定法を選択した方は、ご記入ください。

1. 大型削蹄器具等を使用しますか。該当する記号を○で囲んでください。
但し助手保定は不可。

ア 使用する（具体的な工具は、

)

イ 使用しない

2. 枡場保定を選択した方は、ご記入ください。

1. 使用枡場の種類。該当する記号を○で囲んでください。

ア 起立式簡易枡場

イ 起立式大型枡場

ウ 横転式大型枡場

2. 電動削蹄器を使用しますか。該当する記号を○で囲んでください。

ア 使用する

イ 使用しない

3. 枡場及び電動削蹄器を使用する際の動力源は。該当する記号を○で囲んでください。

ア 施設電源借用（二相式）

イ 自家発電機使用

ウ 電源を使用しない